

少年

第409号(1) 令和2年4月(卯月)発行



山梨県警察本部
生活安全部 少年・女性安全対策課
甲府市丸の内1-6-1
055-221-0110 内線3082
少年対策官 山岸正人

出發の季節

言葉の持つふしぎな響き たとえば・・・出發 何という明るい匂いだろう
出發という心打つ言葉に いつでも明るさを持たせたい きわやかな喜びと光を担わせたい
未知なるものに向かう道を 四月 あなたが出發する わたしも花を求めて出發する
目立たぬ草木にも 春は花を恵むのだ (詩人 宮澤章二著 行為の意味より引用)

一齊休校、様々な活動の自粛と今まで私たちが経験したことのない1ヶ月。この期間は、自分自身をじっくり振り返えったり、普段、当たり前にしてきたことの大切さに気づいたりと、そんな時間を作ってくれました。

4月。新たに始まる生活への期待、新しい友との出会い。外は桜が舞い、とても春らしいのに、何ともいえない重苦しい日が続いています。こんな時だからこそ、笑顔と喜びをもって新年度をスタートしましょう。

ONE TEAM

ラツビの
た一世グタ表
もボラ数代
をさせた。本
望いまし19日
希しきく2019
とら樂熱ブ共
動ばとをッと
感すか々カ負
になの人ド勝
中んたのル名
日本こつく一
日本、あ多ワ戦
しがの一熱象
ッ文化向一な思
らツビの
ーン・。つを
ミガが違
ムイ一景の
エロ背そたる
ジスや、たい
葉るたれし、
言いげま結
め団結られ
る率掲生團
えをがな致
チ々一なる。
込め
る。」
セ身目越
フ地標えこん
ヨ出もり
て乗る。」

「ONE TEAM」。この互いに個性をもつた人々が、一つの学園会で一緒に活動する。これが実現するためには、まず一人一人が自分の意見を明確に表現し、他の人の意見を尊重する姿勢が求められる。これが実現するためには、まず一人一人が自分の意見を明確に表現し、他の人の意見を尊重する姿勢が求められる。

「自分は大丈夫」「自分さえよければ」と考えている人たちの言動がニュースで報じられている。非常に残念に思う。

乗り越え、「ONE TEAM」精神でこの困難を乗り越えなければならないと思う。

力をたくわえる

人生の無意味な日々を送るよりは、人生を豊かにする方が何よりも大切だ。このことを実感するためには、自分自身が何者か、何をやるべきか、何をやるべきではないか、など、自分の内面をよく理解する必要がある。そのためには、自分自身の心の動きをよく観察する力、自己分析の力、自己成長の意欲が必要だ。

念さは計り知れない。

し決スでルに一次つと積
に「ンけネキは、あるし
目はまだ工む手め、でけご
を手一るにた選止のづ過
ト選オすとひるけも気いた。
コ野の準な練口直向ちをて
ン平フをこをす受な勇切れ
メ将パ備い習ににきを大く
の表最つでき満をる私1教
達代表、持ルで不状すは1を
手級け、を一今。現とトもさ
選口向悟口、たにうンで切
のキに覚トもつ虚そメ況大
て73日にンり語謙出コ状の
い子合うコよと、みのなと
つ男試よでぐ」ず踏達んこ
に道たる分注いらを手どる
期柔れき自をたお歩選にね
延。らで。一いも一。も重
ためがす。ギ行人のた。とみ

松下幸之助氏著書「道をひらく」の一篇「時を待つ心」にこんな言葉がある。



い。わ来よ時
した時るかと。
等を、え静」
に力じわ。る
つ、信くる。あ
待くらた來で
とて姿待
いわつのに。姿待
よあ待桜ず幸運も心力必ぐ
ずをつせ得るみをがは注
ばらの待も然休み我期を
れせるを何う瞬の々。い
ぎあ来春が一然着るか
す。の、だ(さ)がる時は。偉は、大て、ずは
き來に心う。偉は、大て、ずは
とづかつよはつる。信は人
い必静待えと待いを時つ
悪は、をいこをての。待
きず時とつ春えるいを

い。き力してす。でのご
しますそ高過
面きこ最に直いらで切にぎだんを過ぎてかケ大切に
レに今ミ時ジ
ヤうとタチよじこる、この
しい同いなた今、うま
私たちは厳しくはなましよいま
しかしあば戦る思
だけにでいい
私たちは挑きと
今すらこ發ほ
まやるがて

大人たちと同様に子どもたちも先が見えず、不安とストレスを抱えて毎日を過ごしています。これらの解消のための第一歩はコミュニケーションを取ることだそうです。私たち大人がほんのちょっと何かを変えて、子どもたちと一緒に過ごしていく必要があるようです。

子供の安全・安心を守るために

いよいよ新年度、子供が安心して新生活をスタートできるよう、家庭・学校・地域で力を合わせ、生活環境を整えていきましょう。

① 通学路の点検を！

休日等を利用し、危険箇所や子供110番の家などを親子で確認しましょう。

③ 良好な人間関係を！

嫌がらせ、悪口を言わない、メール等に絶対書かない。部活動・学校行事等に積極的に取り組ませ、学級、学年、地域の中で良好な人間関係が築けるようサポートしましょう。

⑤ 交通ルールを守る！

- 歩行中・自転車乗車中の交通事故防止（自転車は、安全利用五則の周知徹底）
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 二輪車の交通事故防止

② サイバー犯罪に注意！

携帯・スマートフォン等におけるフィルタリングの設定をはじめ、家庭でしっかりとルールを決めましょう。

④ 危機管理の徹底を！

学校では、不審者及び地震・災害等の危機管理体制づくりと関係機関との連携体制の確立を。家庭・地域では、避難場所の確認や家族の集合場所の確認を。手洗いなどに努め、三つの密を避けましょう。



16名のスクールソーター！



警察と学校のパイプ役である山梨県警察スクールソーターは、平成19年から活動しています。12警察署の他に、少年・女性安全対策課に4名配属されており、合計16名です。

主に、①少年の非行防止及び立ち直り支援活動 ②学校等における子供の安全確保 ③非行・犯罪被害防止教育の支援 ④地域安全情報等の把握及び提供等の活動を行います。

具体的には、学校訪問による生徒指導支援、不審者侵入対応訓練、児童・生徒及び教職員対象の防犯講話、教職員等との街頭補導活動、校舎内外の不審者・不審物発見活動等を行っています。

学校現場からは「悩みを相談できる」、関係機関からは「情報提供が地域の見守り活動のきっかけになった」等の声が寄せられています。今後も学校、地域、警察との連携強化を図りながら、子供が安心して生活できる環境づくりを目指して活動していくきますので、御協力をお願いいたします。



全国地域安全運動等に使用する 「ポスター」「標語」 「青パト活動状況の写真」

を募集しています！締切：6月3日(水)
詳しくは山梨県防犯協会のホームページをご覧ください。<http://bouhanyamanashi.sakura.ne.jp/>

甲府市丸の内二丁目14番13号
公益財団法人 山梨県防犯協会
電話 055-235-0110

募集

ヤングテレホシコーナー

非行、交友、学校問題等、少年の悩みや困りごとについて、少年補導職員や警察官が必要な助言・指導を行っています。少年自身はもちろん、保護者の方からの相談も受け付けています。

☎ 055-235-4444

受付時間 月～金曜日 午前8:30～午後5:00

